

～ えんでこ 白山神社・白山公園ミステリーコース ～



まち歩き順路

- ① 白山神社
- ② 白山公園
- ③ 燕喜館
- ④ ご成婚記念碑
- ⑤ 明和義人顕彰の碑
- ⑥ 県政記念館

① 白山神社

千有余年の歴史を持つ新潟の総鎮守で菊理媛大神（別名白山媛）などを主神として祀っており、古くから人々に親しまれ多くの参拝客が訪れます。戦国時代に上杉景勝が戦勝の帰途に鏡と啓を寄進した記録が残っており、拝殿内には新潟県指定有形民俗文化財となっている「大船絵馬」が掲げられ、折々の祭りは大勢の市民で賑わいます。

② 白山公園

明治6年（1873）に開園した日本で最初の公園のひとつで、白山神社に隣接しています。前年に新潟県令として着任した楠本正隆の命により造園されました。池、築山、花木を配したオランダ風回遊式庭園。園内には明治後期からさまざまな顕彰碑が建つようになり、楠本治政を称賛した「新潟回遊記」が刻まれた新潟遊園碑や、ハバロフスクとの定期空路開設を記念した世界地図が描かれた碑など数多くの碑が点在しています。



③ 燕喜館

新潟三大財閥のひとつに数えられた大商家・齋藤家の本邸のうち「燕喜館」と呼ばれていた接客部分が白山公園内に移築再建されたものです。

④ ご成婚記念碑

大正13年（1924）1月に、当時皇太子であった昭和天皇のご成婚を記念して建てられました。

⑤ 明和義人顕彰の碑

明和5年（1768）に発生した「新潟明和事件」の立て役者、「涌井藤四郎」「須藤佐次兵衛」を顕彰し、昭和4年（1929）明和義人顕彰会が建立しました。

⑥ 県政記念館

明治16年（1883）に建てられた新潟県旧議会議事堂は、明治の初めの府県会開設期の議事堂としては現在唯一の遺構であり、貴重な洋風建築として国の重要文化財に指定されています。